



しょかん
ゲーテ書簡

ワイマール 1807年写 1通

縦22.5cm 横19cm

『若きヴェルテルの悩み』『ファウスト』『親和力』など数多くの著作で知られ、詩人・作家としてドイツ古典派の代表者のみならず、ドイツ最大のまた世界における最も偉大な文学者であるゲーテ (Goethe, Johann Wolfgang von, 1749 - 1832) の書簡。

ワイマールの地より出された一八〇七年四月二十六日付のこの書簡は、五十七歳のゲーテがイエーナ大学の教授アイヒシュテット (Eichstädt, Heinrich Karl Abraham, 1772-1848) に宛てたもの。
アイヒシュテットはイエーナ大学の古典語教授であり、

また同地の図書館長を兼ね、同大学の有名な総合新聞『一般文学新聞』が続刊の危機の際、ゲーテの切なる希望で新たに創刊された『イエーナ一般文学新聞』の編輯者でもあった。ゲーテもこの雑誌の熱心な協力者であったといわれ、この書簡に於いても彼は、同封の論文の掲載を依頼すると共に、新資料を紹介し掲載の場合には、序文を書く用意があることを述べている。

本文はおそらく秘書の口述筆記で、末尾の追伸三行と署名がゲーテの自筆。ゲーテが終生高官として仕えたワイマール宮廷の大公婦人ゾフィー

によって刊行されたワイマール版ゲーテ全集 (全一四三冊の大全集。文学・自然科学・日記・書簡に大別される) 第四部第十九巻所収のもの。



縦二十二・五、横十九糎の洋紙にペンで書かれている。カットは、末尾自筆の追伸と署名。

ゲーテの書簡の格調高い文面とその手跡しよせきには、彼の多面性と、批評の才能を余すことなく示すものがある。

(天理図書館 福田由紀子)

天理図書館のお知らせ Tel:0743-63-9200 <http://www.tcl.gr.jp/>

◆平日(午前9時~午後5時半) 土・日・祝(午前9時~午後4時半)

7月18・29日は閉館。

(本欄にて紹介した名品の閲覧については係へお尋ねください)